

アクレックス 3750素材感

---

仕 様 書

---

和信化学工業株式会社

---

木工塗料事業部

---

平成 年 月 日

---

## アクレックス 3750 素材感

美しい白木は和室の主役です。しかしながら木材そのままの状態では、手垢・シミ・日焼け等で汚れてしまう事も少なくありません。

本品は、白木を汚れや日焼けから保護し、しかも塗装していないかのような自然な木地感に仕上げる事ができる、環境対応型の水系つや消し塗料です。

### § ホルムアルデヒド放散等級

アクレックス 3750 素材感                      F                      (W01346)

### § 特 長

水系塗料 …………… VOC 含有量が少なく、消防法の危険物に該当せず、火気の心配がありません。

厚生労働省指定の毒物・劇物に該当しない、低臭で環境に優しい塗料です。(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)

自然な仕上がり …………… 木材そのものの風合いのような自然な仕上がりとなります。

日焼け防止効果…………… 紫外線吸収剤の配合により、日焼け防止効果を持っています。

汚れ防止 …………… 木地に直接汚れが付着しないよう、しっかりとした塗膜を形成します。未塗装の木材が汚れた際に、拭いてもなかなか取れないような時でも、本品を塗装しておけば汚れが取れやすくなります。

### § 用 途

和室の柱・天井・巾木などの白木仕上げ

### § 使用 方法

本品は原液のまま塗装できますが、必要に応じて水で希釈して下さい。塗装用具は水で洗う事ができますが、乾いてしまうと洗いにくなりますので、その際はラッカーシンナー等をご使用下さい。

水で希釈しすぎると、求める仕上がりにならない事がありますのでご注意下さい。

§ 塗料性状

外 観	乳白色	乾くと半透明になります。
粘 度	20 秒±2 秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.01 ± 0.02	25 (ウイトカップ)
不揮発分	20.5%	計算値
保管安定性	異状なし	50 1ヶ月保管

§ 乾燥性目安

塗布量 80 ~ 100 g/m<sup>2</sup>  
 乾燥時間 指触 40 ~ 60分、指圧 50 ~ 70分 (気温/湿度、20 / 50%)

条件によって乾燥時間は変わりますので参考として下さい。

§ 塗膜性能

項 目	結 果	条 件
耐酸性	○ -	5%酢酸水 スポットテスト 24 時間
耐アルカリ性	× 黒変	5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24 時間
耐水性	○ -	水道水 スポットテスト 24 時間
耐アルコール性	○ ~	60%エタノール水 スポットテスト 24 時間
耐溶剤性	× ×	塗料用うすめ液 スポットテスト 24 時間 キシレン スポットテスト 24 時間
耐マジック性	黒× 赤×	24 時間後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒○ 赤○	24 時間後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒× 赤×	インキ スポットテスト 24 時間
耐湿熱性	×	塗膜上に沸騰水を撒き、その上に 300 cc沸騰水入りビーカー 30分放置
鉛筆硬度	F	ガラス板 5ミル 20 /60%にて 11 日養生

カバ合板 2回塗装 20 /60%にて 12 日間養生

§ 各種塗膜との密着性

下塗り塗料	研磨あり	研磨なし
アクレックス 3000 ホア-ステイン原液 " 原液/水 = 1/1	拭き取り 拭き取り	-
アクレックス 3300 ウッドシーラー		
アクレックス 3350 サンディング		
アクレックス 3500 フロア		
アクレックス 3520 2液フロア		
アクレックス 3600 アク止めシーラー		
アクレックス 3900 ネオステイン	-	
ワシンエコフロア		
ワシンエコMフロアWT		
ワシン Non-TX ラッカークリヤー		

これは実験室におけるデータであり、実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件で変わることがありますので参考として頂き、事前のチェックをお奨めします。

§ 塗装工程(例)

和室柱 白木仕上げ (例)

工程	使用塗料	乾燥時間	塗布量	備考
素地調整	P150サンドペーパー			
下塗り	アクレックス 3750 素材感	2~4時間	80~100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り
研磨	P320サンドペーパー			
上塗り	アクレックス 3750 素材感	4時間以上	80~100g/m <sup>2</sup>	刷毛塗り

塗布量は素材の吸い込み具合や、平面・立面塗装によっても変わります。又、乾燥時間は条件により変わりますので目安として下さい。

## § 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が出にくくなる場合が有りますので避けて下さい。

本品は水系塗料ですので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちにくくなりますのでご注意下さい。その際はラッカーうすめ液等をお使い下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。